

新年のごあいさつ

坂東市長

吉原英一



昨年は、東日本大震災を教訓として、北茨城市・河内町とともに災害時における相互応援に関する協定を締結いたしました。また、防災支援連絡会議を設立し、構成団体の皆様それぞれができるとを協力し合つて対応していく体制を整備するとともに、市内の事業者の皆様と防災協定を締結させていただき、危機管理体制の強化を図つてまいりました。

放射能漏れによる風評被害の払しょく対策として、県内市町村では初めてゲルマニウム半導体放射能検出機を導入し、生鮮野菜の一大産出地として確かに裏付けをもつた出荷体制を整え、安全・安心な坂東野菜の消費拡大に努めてまいりました。

旧年中は市政運営に温かいご支援とご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。本年も、市民の皆様との協働をより一層推進し、市民の皆様が安全・安心に、そして笑顔あふれる生活ができますよう、活力あるまちづくりに取り組んでまいります。

策を進めてまいります。

市役所庁舎の建て替えにつきましては、庁舎建設検討委員会並びに市議会庁舎建設に係る調査特別委員会からの報告に基づき、新庁舎建設に向けた取り組みを推進しています。新年度早々には、損傷した岩井庁舎の取り壊しを計画しています。このことにもない、現在岩井庁舎に配置されている事務室の移転を予定しています。市民の皆様には大変ご不便をおかけしますが、ご協力をお願ひ申し上げます。

本年は、平将門公生誕1111年

といわれています。財政状況は依然として厳しい状況にありますが、農業を中心として商業、工業がバランスよく発展できる活力溢れる坂東市づくりを推進し、輝ける後世への礎を築いてまいりたいと考えております。結びに、平成25年が明るく希望に満ちた年となりますことを念願いたしますとともに、市民の皆様の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申上げまして、新年のごあいさつといたします。

